

MRAPID

青森県感染症発生情報

Monthly Report on Aomori Prefectural Infectious Disease

青森県感染症情報センター

(青森県環境保健センター内：担当 微生物部)

2006年2月 (2006年3月17日発行)

TEL 017-736-5411 FAX 017-736-5419

青森県環境保健センターホームページ
http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html

1. 第5週から第8週(1月30日~2月26日)までの動向

1) STDは昨年1月に比べて患者数が減少しました。特に30代前半の男性及び20代後半の女性の患者数が減少しましたが、40代の男性の患者数はやや増加しました。また、疾病別では、性器クラミジア、尖圭コンジローマが減少し、性器ヘルペスウイルス感染症が増加しました。

2. STD発生状況

1) 保健所管内別

	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
75 性器クラミジア	9	3.00	6	2.0	5	2.50			5	2.50			25	1.92
76 性器ヘルペス	2	0.67	4	1.3	4	2.00			1	0.50			11	0.85
77 尖圭コンジローマ			3	1.0									3	0.23
78 淋菌感染症	2	0.67	1	0.3	5	2.50			1	0.50			9	0.69

2) 年齢別・性別

年齢	75 性器クラミジア		76 性器ヘルペス		77 尖圭コンジローマ		78 淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0~1										
1~4										
5~9										
10~14										
15~19		5	1	2					1	7
20~24	3	4	1	1		2	1	2	5	9
25~29	3	2					2		5	2
30~34	2	1		1		1	2		4	3
35~39			1	1			1		2	1
40~44	2						1		3	
45~49	2		1						3	
50~54	1			2					1	2
55~59										
60~64										
65~69										
70~										
合計	13	12	4	7		3	7	2	24	24

3. 薬剤耐性菌発生状況

1) 採取部位別

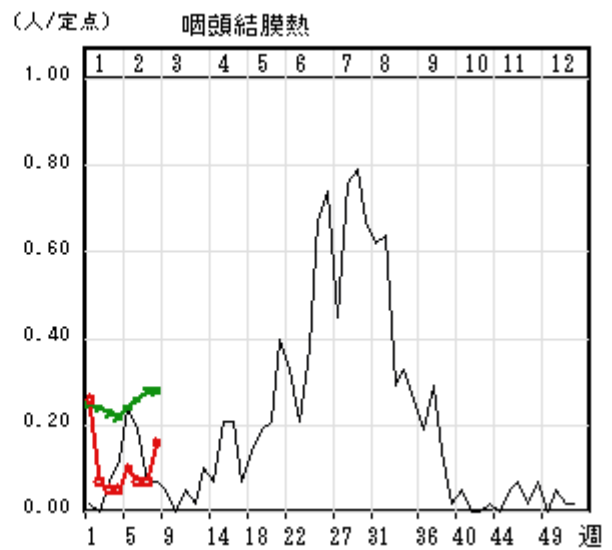
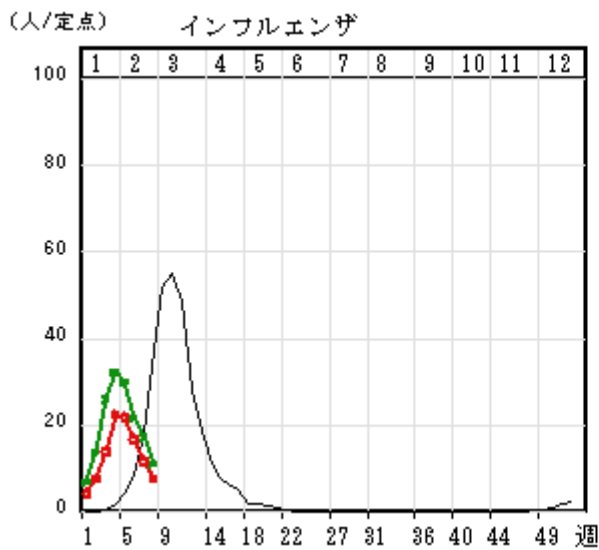
	採取部位別											青森県合計
	喀痰	留置カテーテル	術創部(創部感染)	耳漏液	気管洗浄液	血液	髄液	胸水	腹水	膿	その他	
85 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2					1					1	4
81 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症												
86 薬剤耐性緑膿菌感染症		1										1

4. 全数把握感染症（2006年）

	疾患名	青森県		全国			疾患名	青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計			当月	累計		
1類 感染症	1 エボラ出血熱					4類 感染症	32 日本紅斑熱				
	2 クリミア・コンゴ出血熱						33 日本脳炎				
	5 ペスト						34 ハンタウイルス肺症候群				
	6 マールブルグ病						35 Bウイルス病				
	7 ラッサ熱						36 ブルセラ症			1	1
	8 急性灰白髄炎						37 発しんチフス				
	9 コレラ			2	5		38 ボツリヌス症				
2類 感染症	10 細菌性赤痢			28	57	39 マラリア				3	
	11 ジフテリア					41 ライム病					
	12 腸チフス			5	9	43 レジオネラ症			28	39	
	13 パラチフス			3	3	45 アメーバ赤痢			26	38	
	14 腸管出血性大腸菌感染症			22	53	46 ウイルス性肝炎			2	8	
3類 感染症	18 エキノコックス症				4	47 急性脳炎					
	19 黄熱					48 クリプトスポリジウム症					
	20 オウム病			1	3	49 クロイツフェルト・ヤコブ病			5	17	
	21 回帰熱					50 劇症型溶血性レンサ球菌感染症			7	13	
	22 Q熱					51 後天性免疫不全症候群			44	70	
	23 狂犬病					52 ジアルジア症			2	9	
	25 コクシジオイデス症					53 髄膜炎菌性髄膜炎			2	3	
	27 腎症候性出血熱					54 先天性風しん症候群					
	28 炭疽					55 梅毒			21	39	
	29 つつが虫病			1	5	56 破傷風			3	3	
	30 デング熱			2	4	58 パンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	2	4	

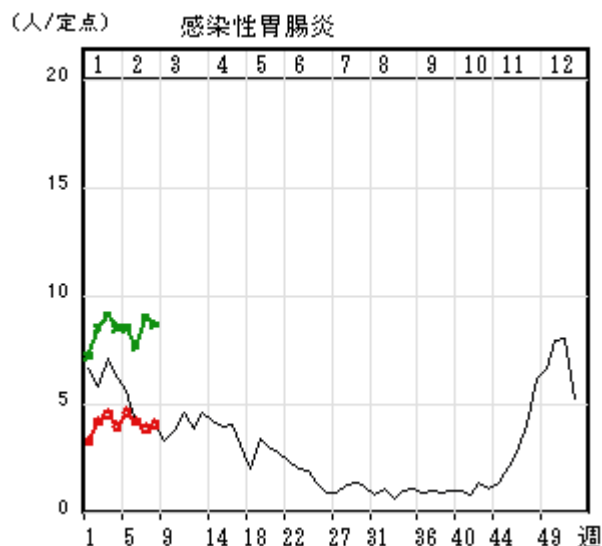
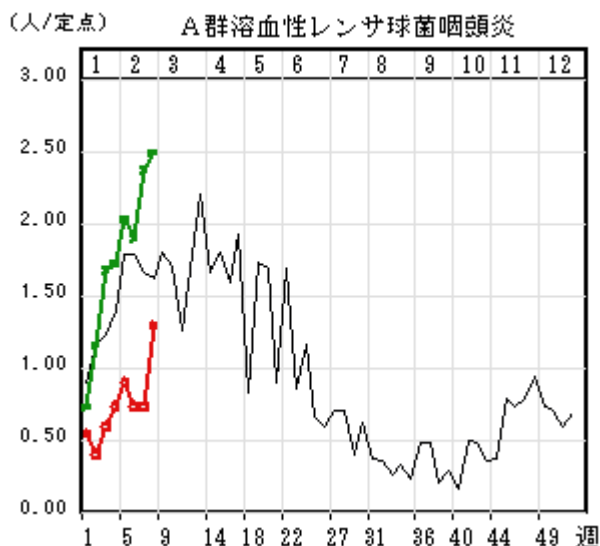
5. 定点把握感染症の推移

○—○：当年（青森県） ————：前年（青森県） ×—×：当年（全国）

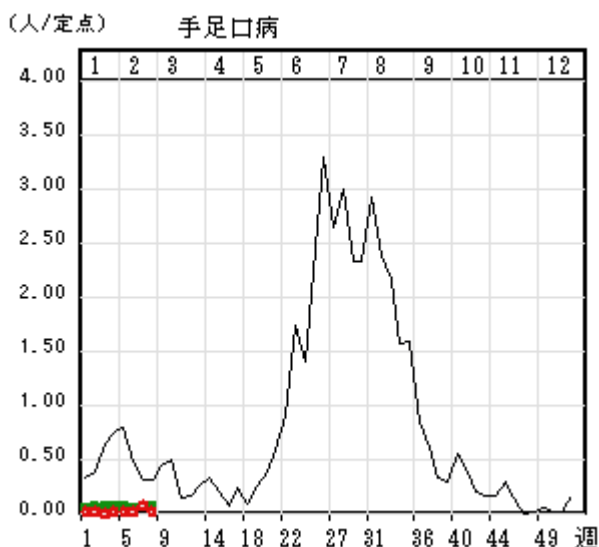
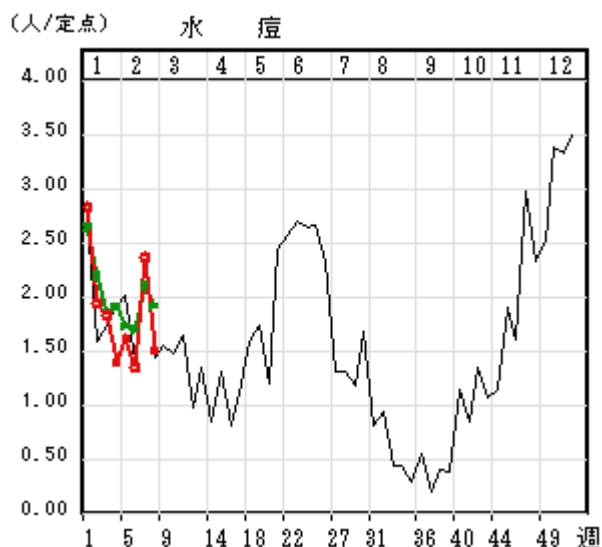


インフルエンザは、減少傾向にあります。咽頭結膜熱は、一時減少しましたが、増加傾向を示しています。

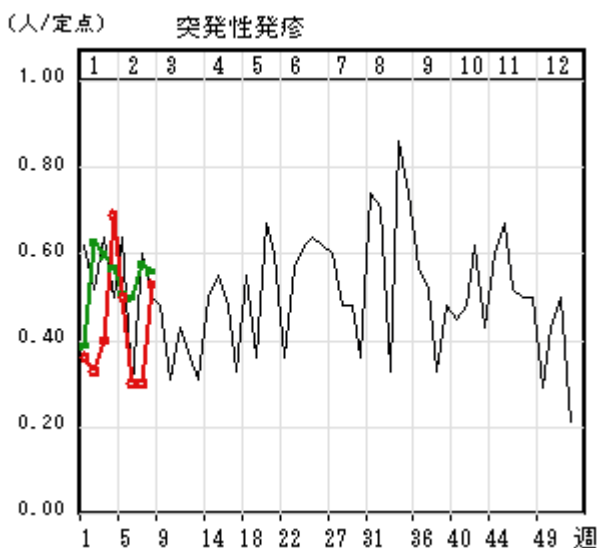
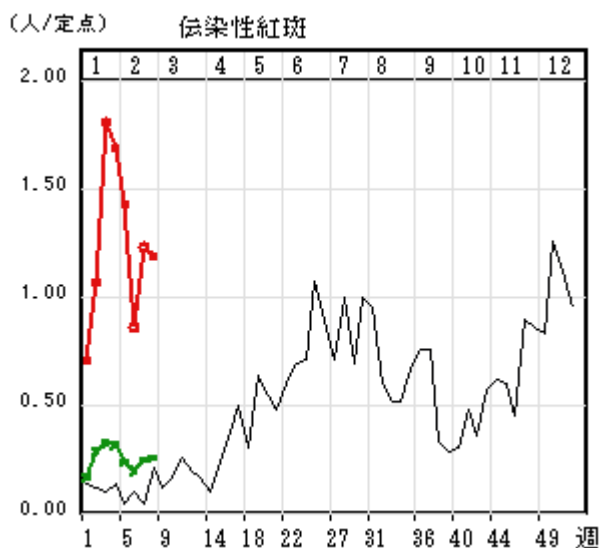
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、増加傾向にあります。感染性胃腸炎は、全国値を下回って推移しています。

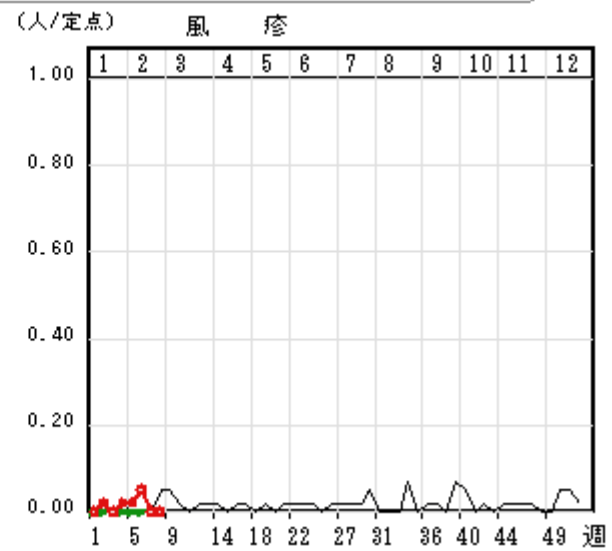
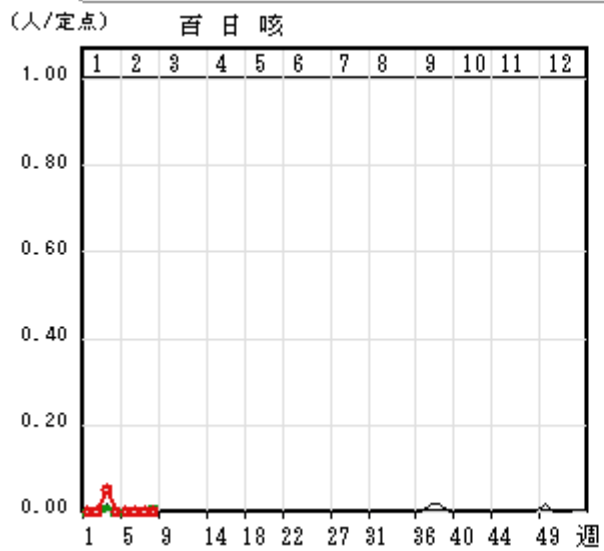


水痘は、減少傾向にあります。手足口病は、当月中6件の発生報告がありました。

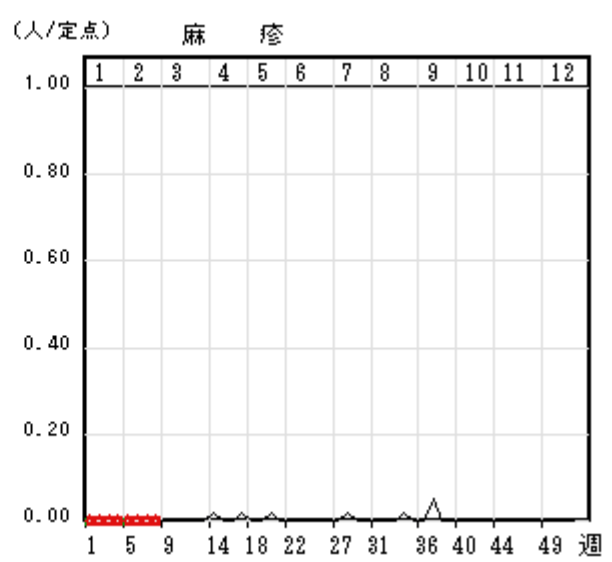
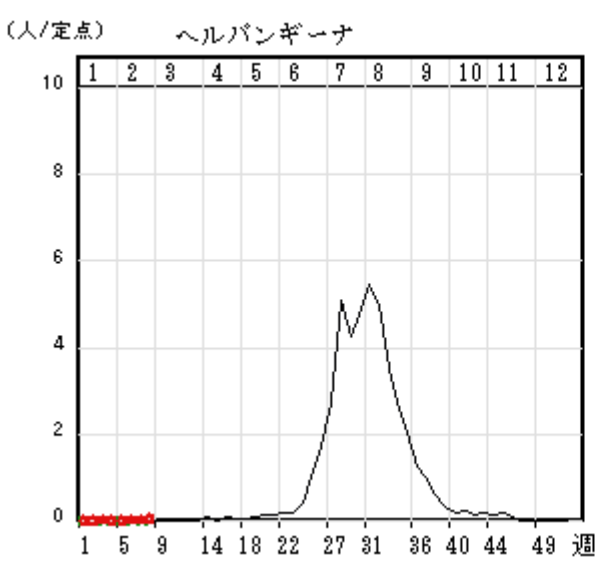


伝染性紅斑は、全国値を上回って推移しています。突発性発疹は、増加傾向にあります。

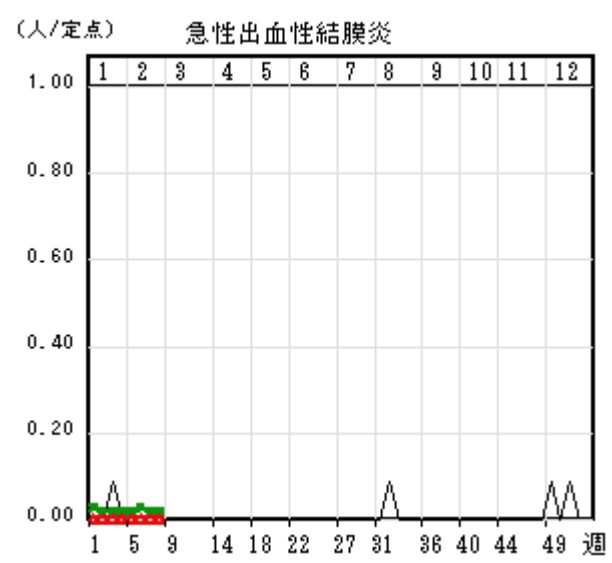
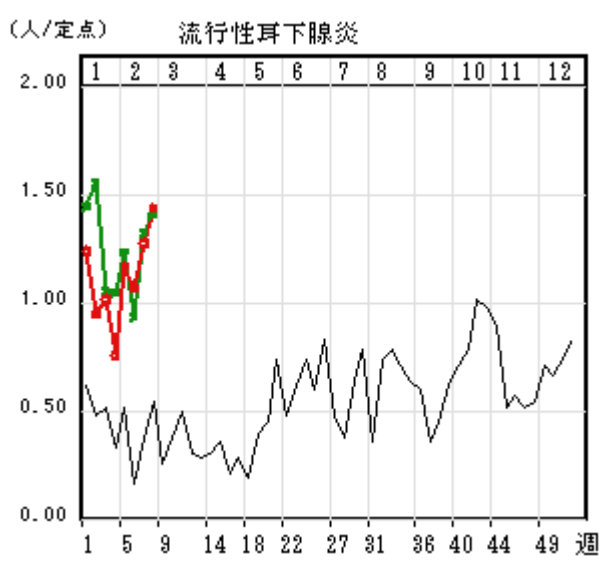
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



百日咳は、当月中の発生報告はありませんでした。風疹は、当月中3件の発生報告がありました。

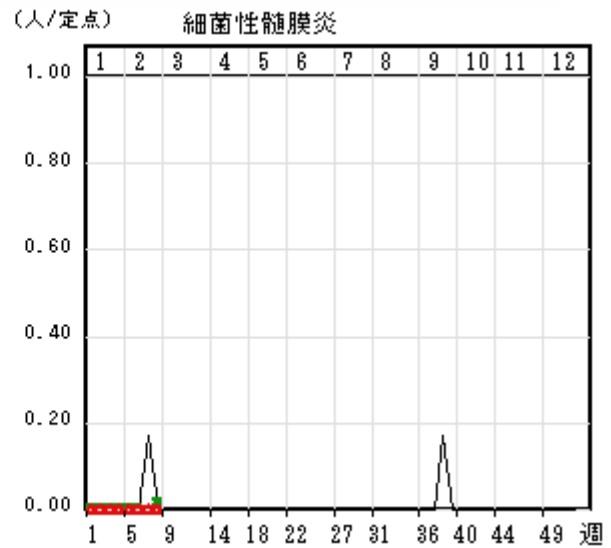
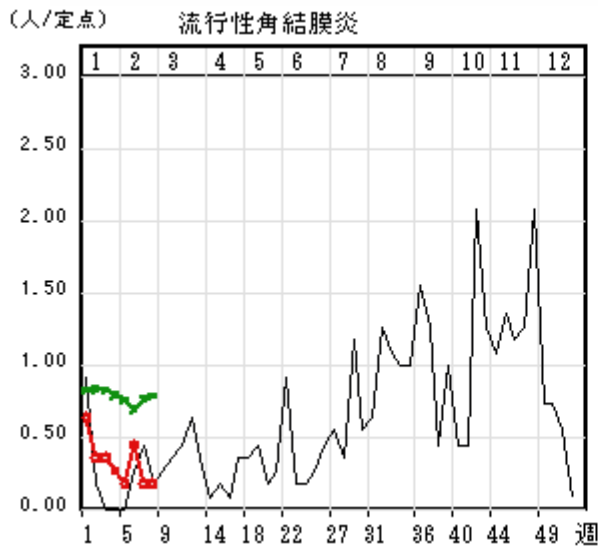


ヘルパンギーナは、当月中4件の発生報告がありました。麻疹は、当月中の発生報告はありませんでした。

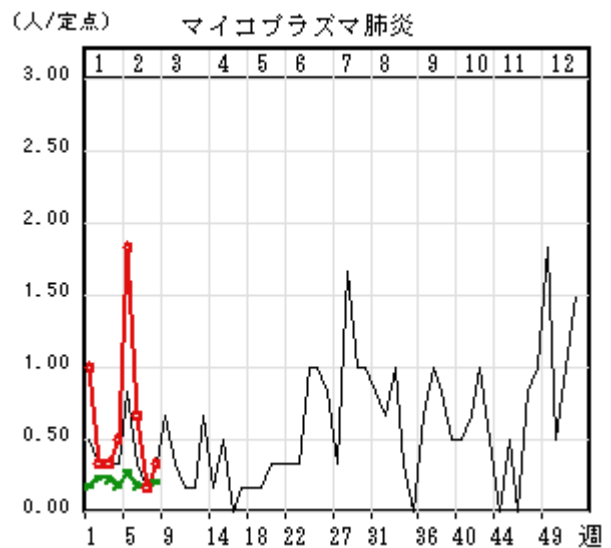
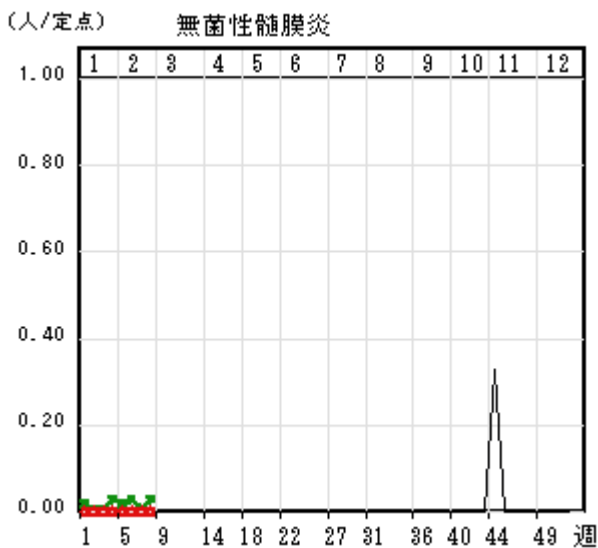


流行性耳下腺炎は、増加傾向にあります。急性出血性結膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。

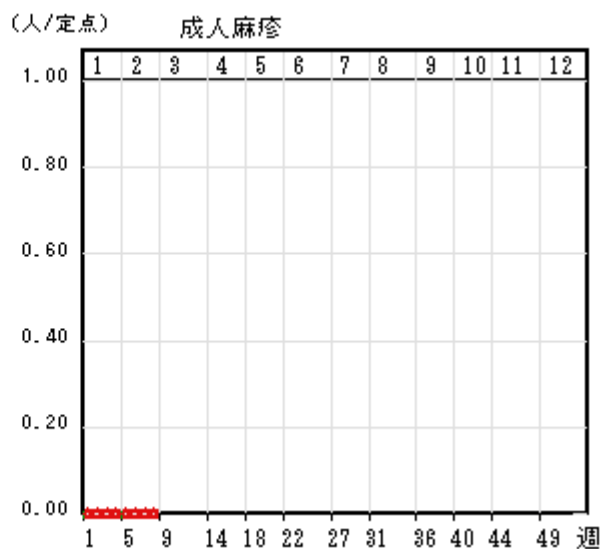
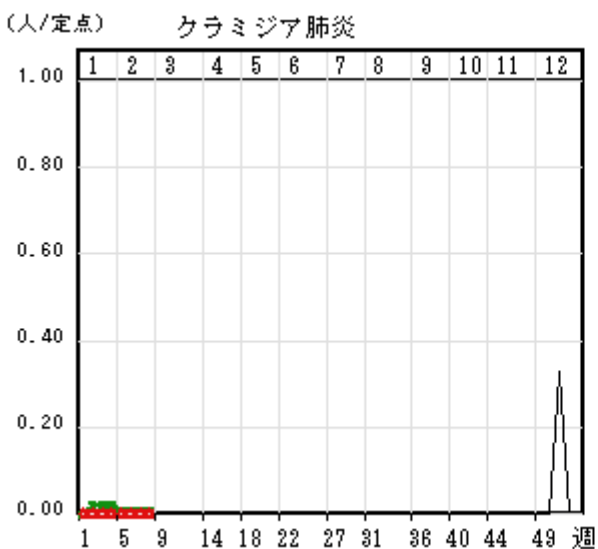
○—○：当年（青森県） ———：前年（青森県） ×—×：当年（全国）



流行性結膜炎は、全国値を下回って推移しています。細菌性髄膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。



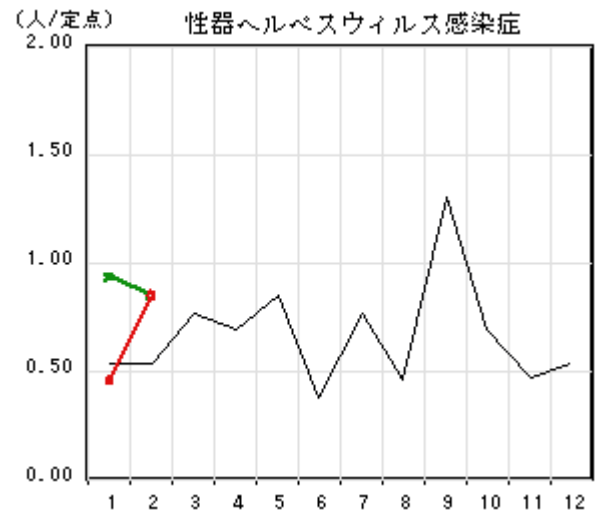
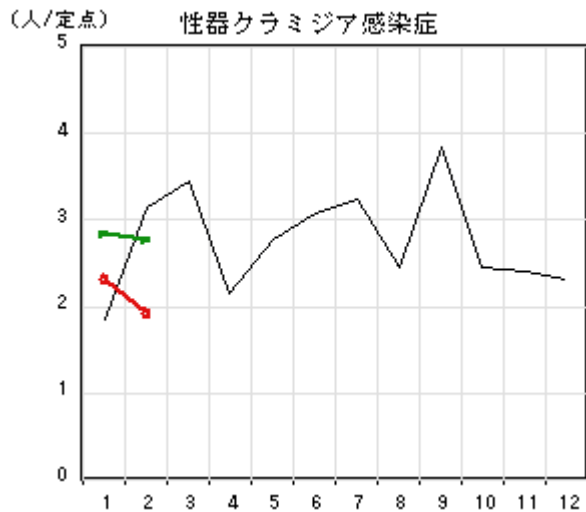
無菌性髄膜炎は当月中の発生報告はありませんでした。
マイコプラズマ肺炎は、全国値を上回って推移しています。



クラミジア肺炎、成人麻疹とも当月中の発生報告はありませんでした。

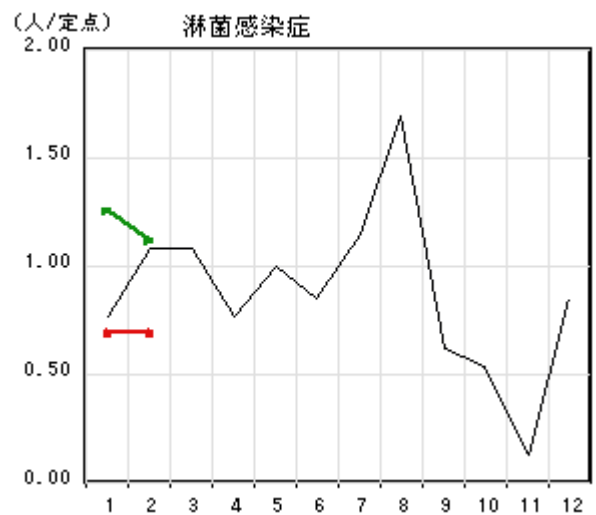
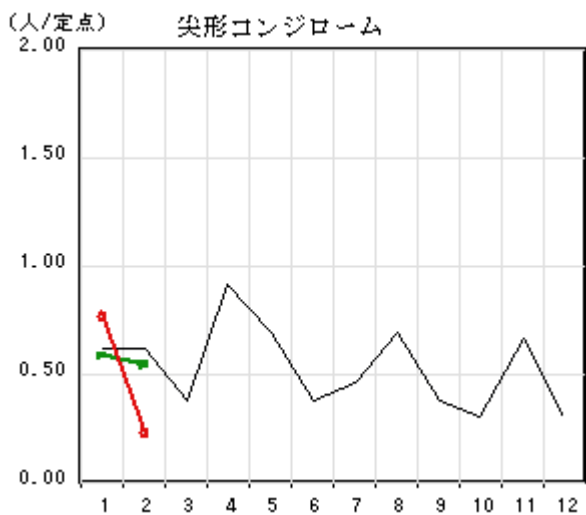
6.STD 感染症の月別推移

○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



性器クラミジア感染症は、全国値を下回って推移しています。

性器ヘルペスウイルス感染症は、増加傾向にあります。



尖形コンジロームは、減少傾向にあります。淋菌感染症は、全国値を下回って推移しています。